

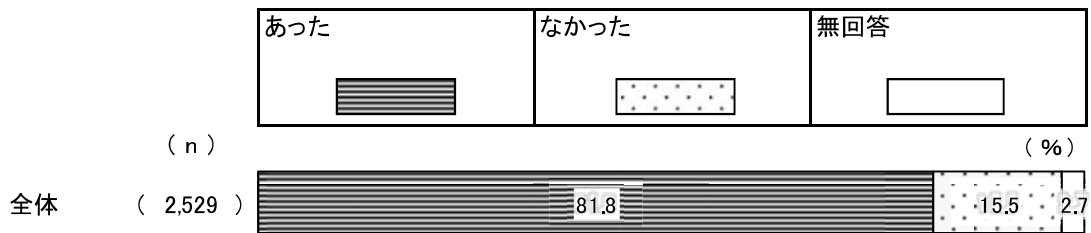
## 9. 子どもの病気の際の対応について

### (1) 病気やケガで幼稚園や保育施設等を利用できなかったことの有無

◆問 24 は、平日の定期的な教育・保育事業等（問 16）を「1 利用している」とお答えの方にかがいます

問24 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、幼稚園や保育施設等を利用できなかったことはありますか。（1つに○）

「あった」が81.8%、「なかった」が15.5%となっています。

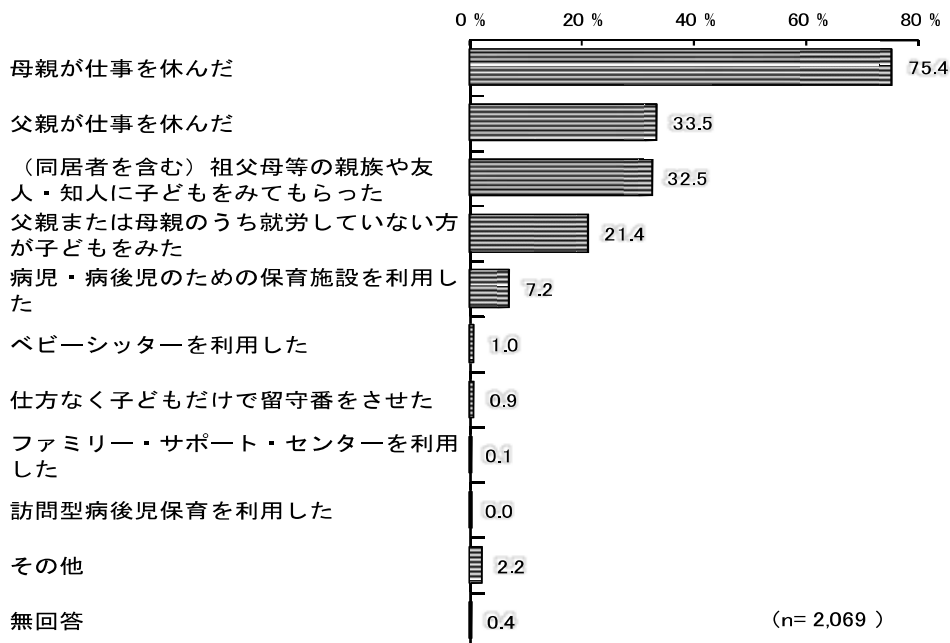


### (2) 病気やケガで幼稚園や保育施設等を利用できなかった場合の対処方法と日数

◆問 24-1 は、問 24 で「1 あった」とお答えの方にかがいます

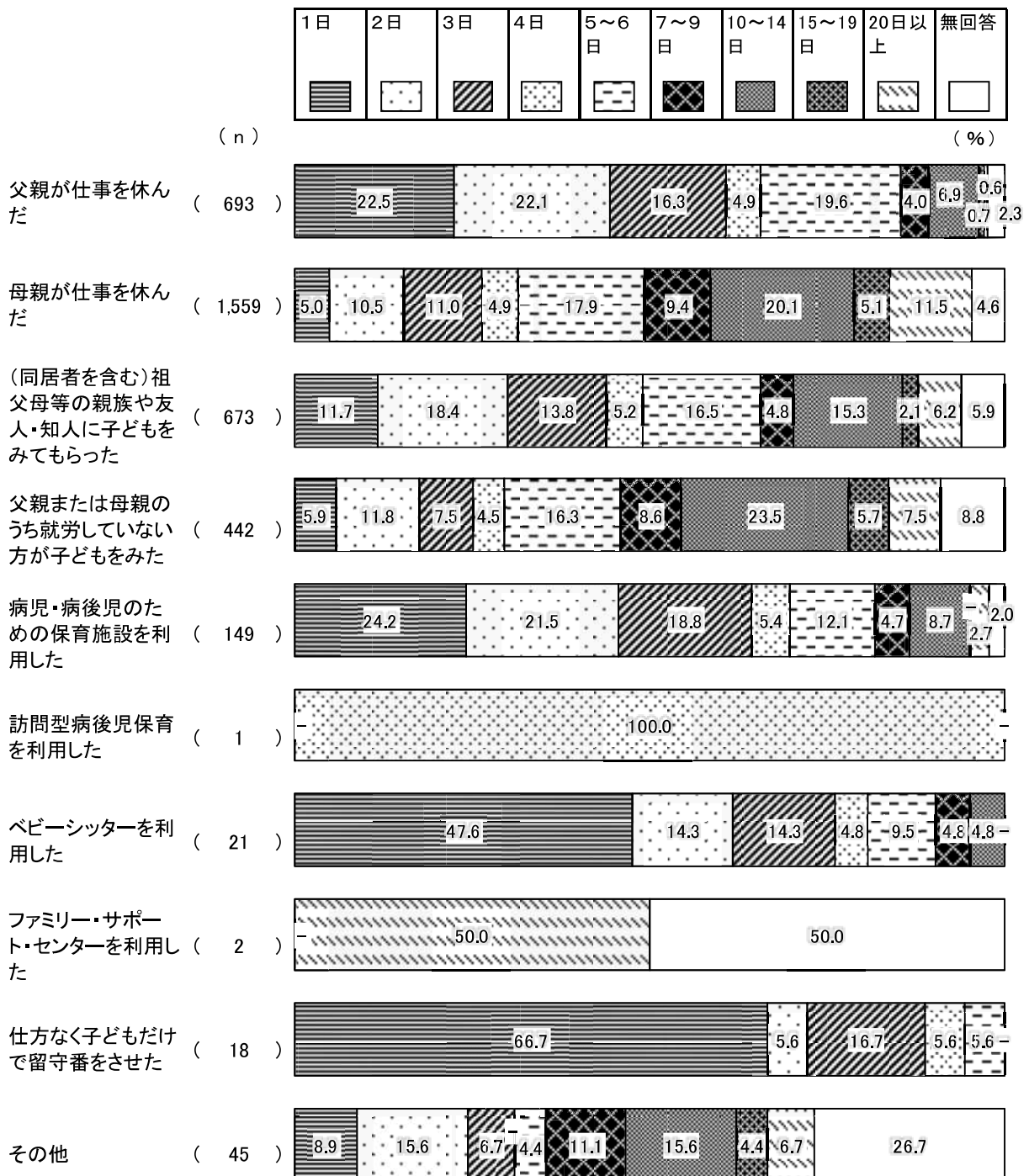
問24-1 どのように対処しましたか。⇒この1年間に対処した日数もご記入ください。  
（あてはまるものすべてに○）

「母親が仕事を休んだ」が最も多く75.4%、次いで「父親が仕事を休んだ」が33.5%、「(同居者を含む) 祖父母等の親族や友人・知人に子どもをみてもらった」が32.5%となっています。



【1年間の対処方法別日数】

母親が仕事を休んだ、父親または母親のうち就労していない方が子どもをみただでは「10～14日」、父親が仕事を休んだ、病児・病後児のための保育施設を利用した、ベビーシッターを利用した、仕方なく子どもだけで留守番をさせたは「1日」、(同居者を含む)祖父母等の親族や友人・知人に子どもをみてもらったは「2日」が最も多くなっています。訪問型病後児保育を利用したは「4日」、ファミリー・サポート・センターを利用したは、「20日以上」が1件となっています。

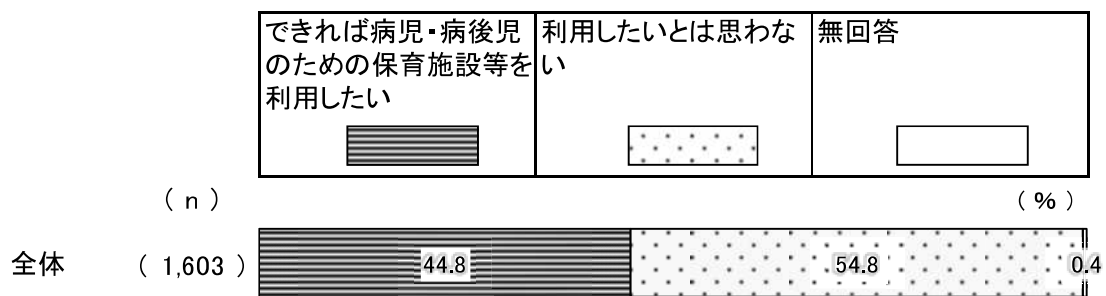


### (3) 病児・病後児施設等の利用意向と利用希望日数

◆以下の質問は、問 24-1 で「1 父親が仕事を休んだ」または「2 母親が仕事を休んだ」とお答えの方にかかっています

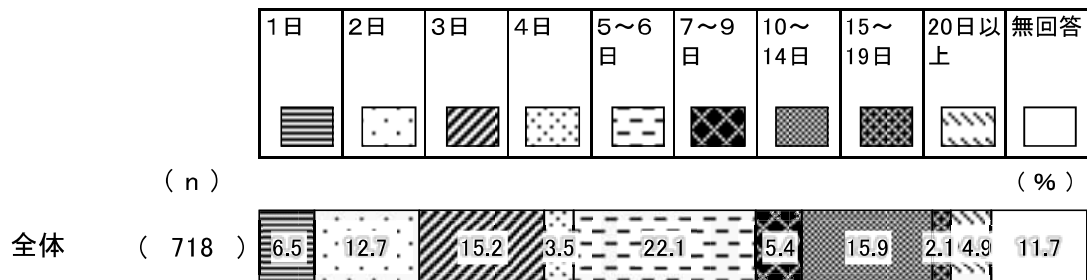
問24-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。「1 できれば利用したい」とお答えの方は、日数についてもご記入ください。  
 なお、病児・病後児のための保育施設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(1つに○)

「利用したいとは思わない」が最も多く 54.8%、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」が 44.8%となっています。



#### 【利用希望日数】

「5～6日」が最も多く 22.1%、次いで「10～14日」が 15.9%、「3日」が 15.2%となっています。

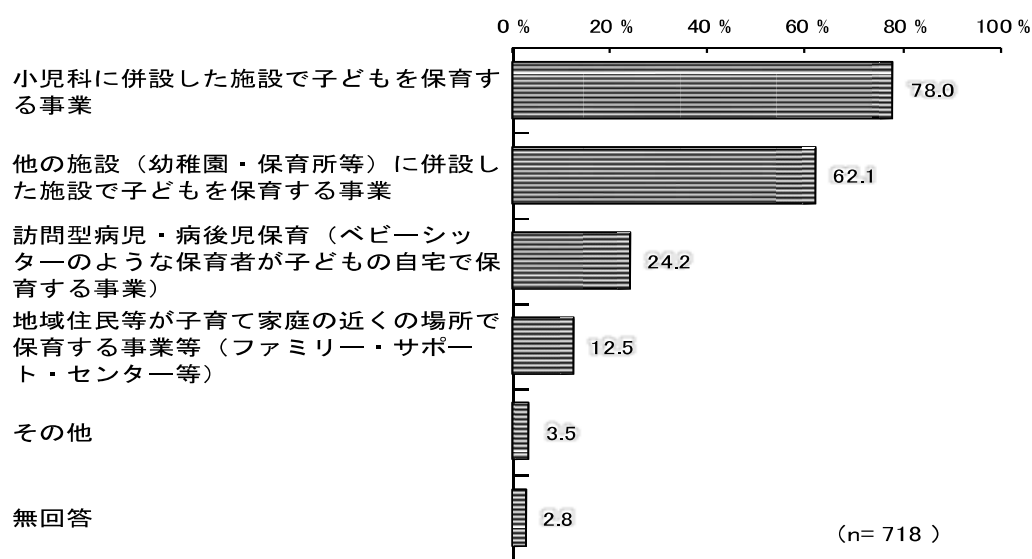


#### (4) 病児・病後児施設等の事業形態

◆問 24-3 は、問 24-2 で「1 できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」とお答えの方  
にうかがいます

問24-3 病児・病後児のための保育施設等を利用する場合、どの形態が望ましいですか。(あて  
はまるものすべてに○)

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が最も多く 78.0%、次いで「他の施設（幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が 62.1%、「訪問型病児・病後児保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの自宅で保育する事業）」が 24.2%となっています。

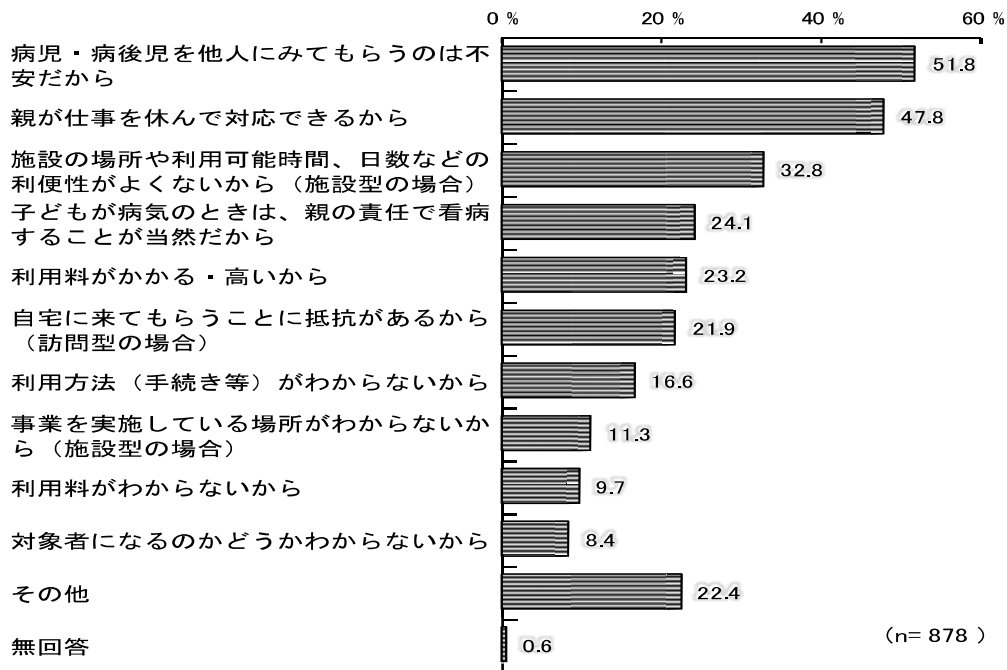


(5) 病児・病後児施設等を利用しない理由

◆問 24-4 は、問 24-2 で「2 利用したいとは思わない」とお答えの方にうかがいます

問24-4 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安だから」が最も多く 51.8%、次いで「親が仕事を休んで対応できるから」が 47.8%、「施設の場所や利用可能時間、日数などの利便性がよくないから(施設型の場合)」が 32.8%となっています。

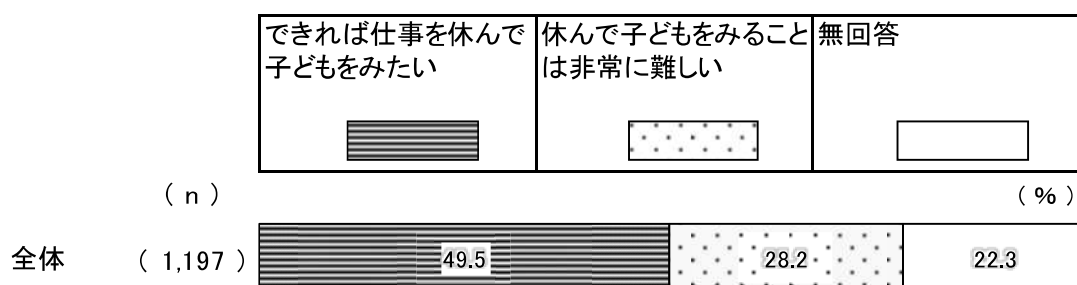


(6) 子どもの看護のための休暇取得希望と日数

◆問 24-5 は、問 24-1 で「3」～「10」のいずれかにお答え(父親または母親が仕事を休んだと答えていない)の方にうかがいます

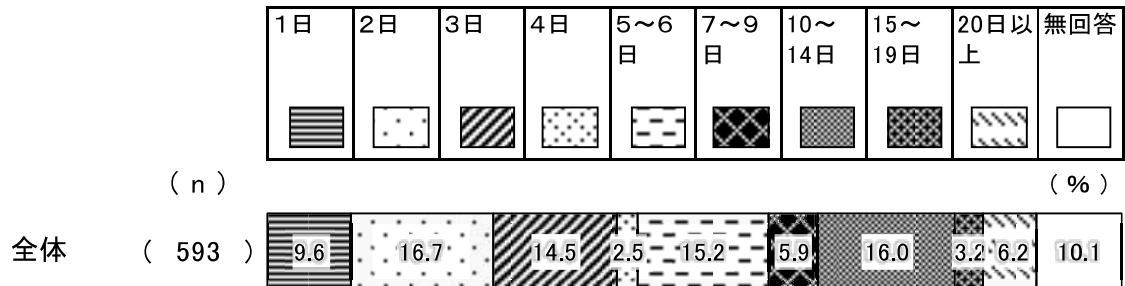
問24-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思われましたか。  
「1 できれば仕事を休んで子どもをみたい」とお答えの方は、日数についてもご記入ください。(どちらか近い方に○)

「できれば仕事を休んで子どもをみたい」が 49.5%、「休んで子どもをみることは非常に難しい」が 28.2%となっています。



【日数】

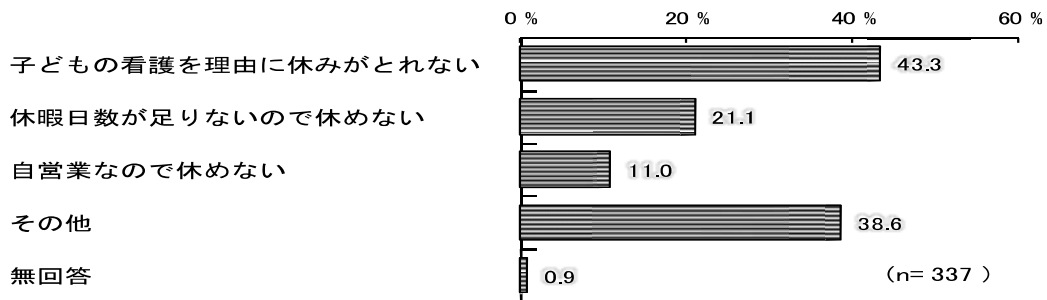
「2日」が最も多く16.7%、次いで「10～14日」が16.0%、「5～6日」が15.2%となっています。



(7) 子どもの看護のための休暇取得が難しい理由

◆問24-6は、問24-5で「2 休んで子どもをみることは非常に難しい」とお答えの方にうかがいます  
 問24-6 回答の理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「子どもの看護を理由に休みがとれない」が最も多く43.3%、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が21.1%、「自営業なので休めない」が11.0%となっています。



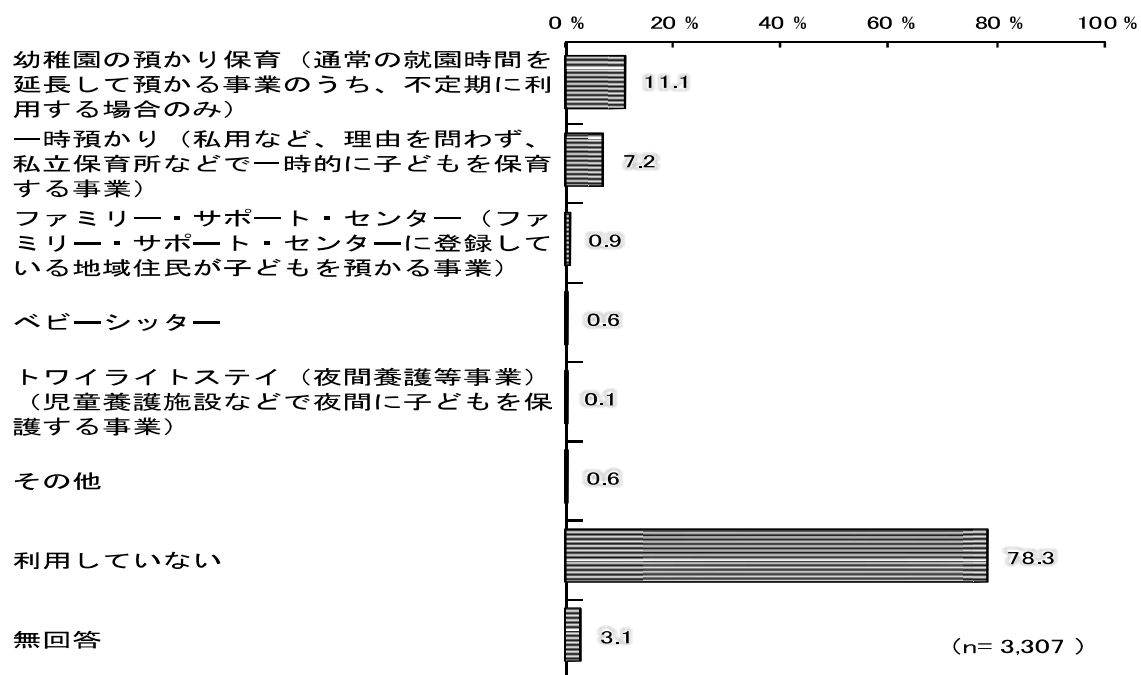
## 10. 不特定の教育・保育事業等や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

### (1) 不特定の教育・保育事業や一時預かり等の利用状況と日数

問25 あて名のお子さんについて、日中の定期的な教育・保育事業や病気のため以外に、親の通院、不特定の就労や私用、リフレッシュ等の目的で不特定に利用している事業等がありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をして、1年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。（あてはまるものすべてに○）

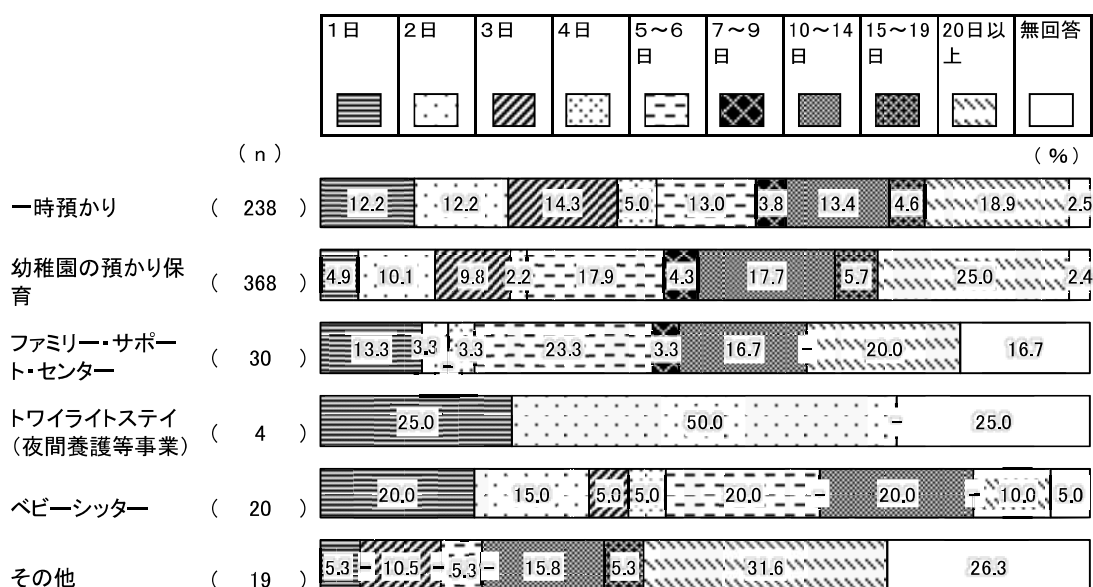
#### 【利用している事業】

「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不特定に利用する場合のみ）」が最も多く11.1%、次いで「一時預かり（私用など、理由を問わず、私立保育所などで一時的に子どもを保育する事業）」が7.2%、「ファミリー・サポート・センター（ファミリー・サポート・センターに登録している地域住民が子どもを預かる事業）」が0.9%となっています。また「利用していない」が78.3%となっています。



### 【利用している事業別年間日数】

一時預かり、幼稚園の預かり保育は「20日以上」、ファミリー・サポート・センターは「5～6日」、トワイライトステイ（夜間養護等事業）は「2日」、ベビーシッターは「1日」が最も多くなっています。ベビーシッターは、「5～6日」「10～14日」も多くなっています。

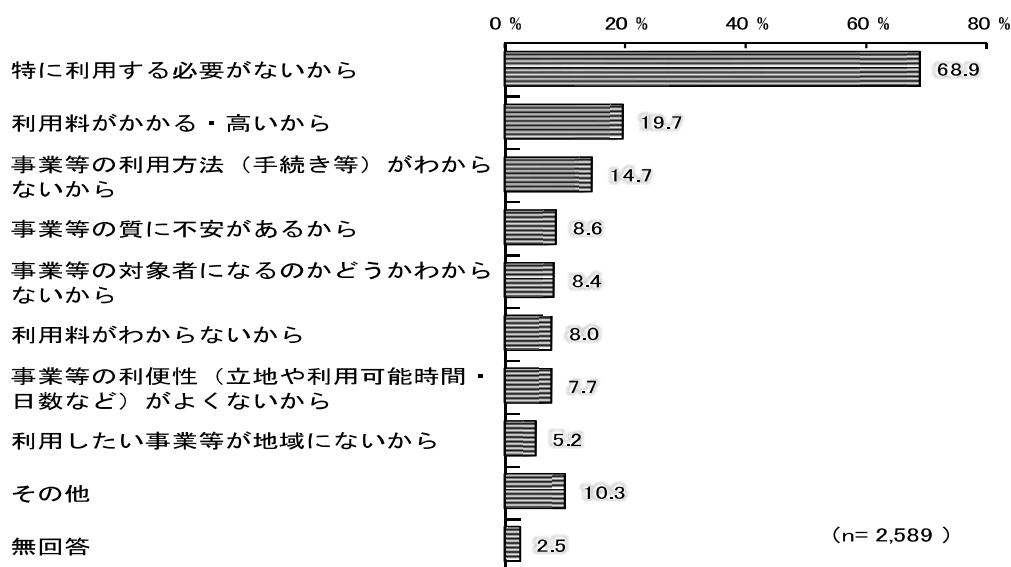


### (2) 不定期の教育・保育事業や一時預かり等を利用していない理由

◆問 25-1 は、問 25 で「7 利用していない」とお答えの方にうかがいます

問25-1 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「特に利用する必要がないから」が最も多く 68.9%、次いで「利用料がかかる・高いから」が 19.7%、「事業等の利用方法（手続き等）がわからないから」が 14.7%となっています。



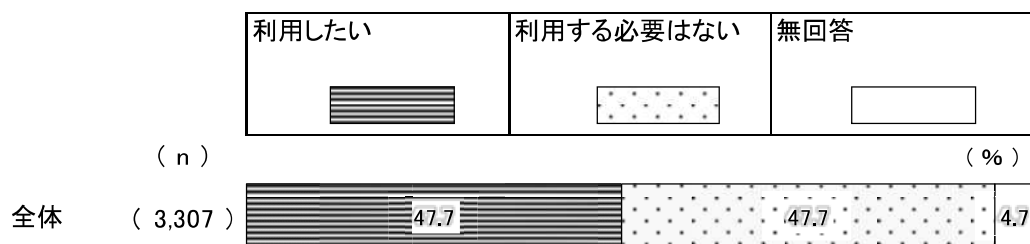


### (3) 不特定の教育・保育事業や一時預かり等の利用希望と日数

問26 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業等を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について選択し、必要な日数をご記入ください。なお、事業等の利用には一定の利用者負担が発生します。(あてはまるものすべてに○)

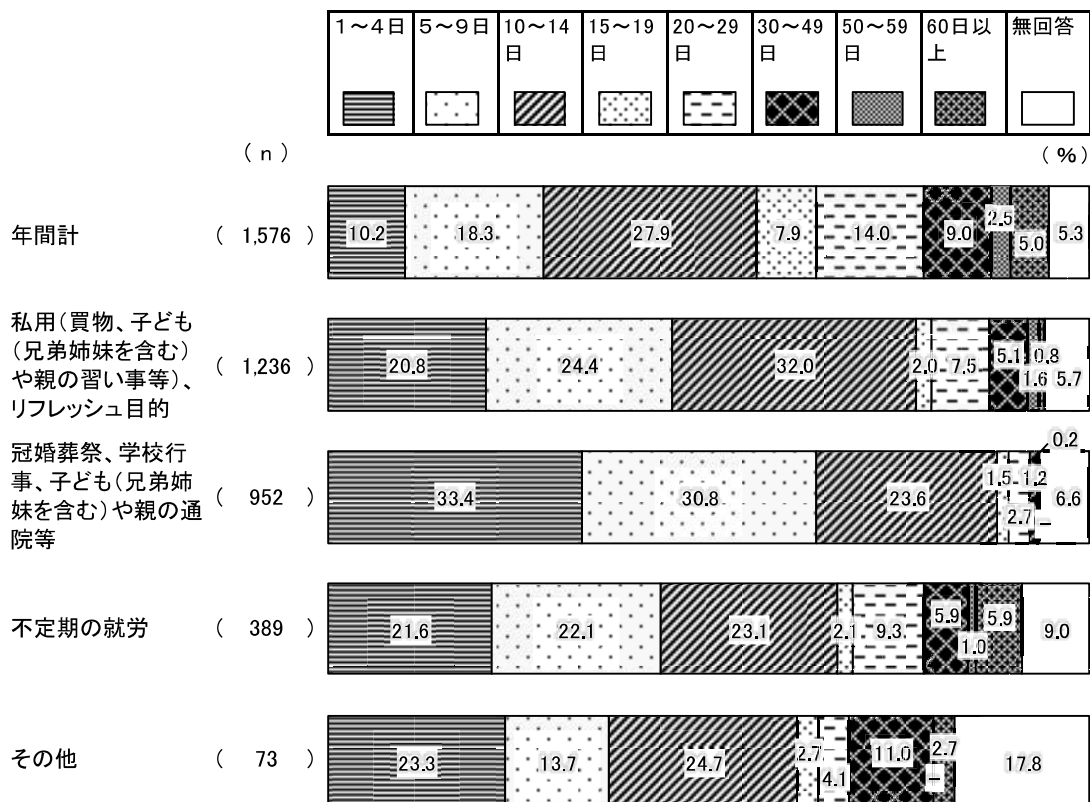
#### 【利用希望】

「利用したい」「利用する必要はない」ともに 47.7%となっています。



【利用目的別利用希望年間日数】

私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的、不定期の就労は、「10～14日」、冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等は「1～4日」が最も多くなっています。

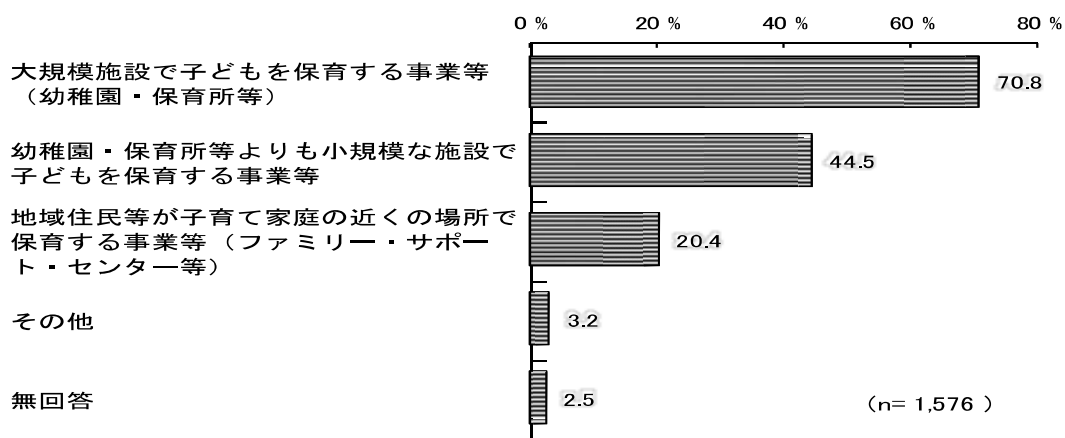


#### (4) 不定期の教育・保育事業の事業形態

◆問 26-1 は、問 26 で「1 利用したい」とお答えの方にうかがいます

問26-1 問26の目的でお子さんを預ける場合、どのような施設、事業形態に預けたいですか。  
(あてはまるものすべてに○)

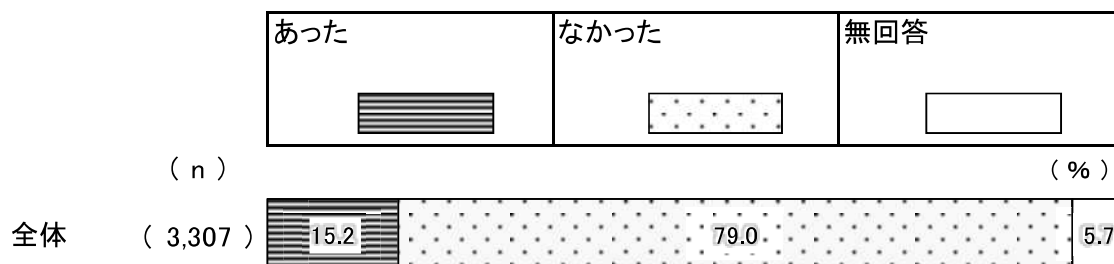
「大規模施設で子どもを保育する事業等（幼稚園・保育所等）」が最も多く 70.8%、次いで「幼稚園・保育所等よりも小規模な施設で子どもを保育する事業等」が 44.5%、「地域住民等が子育て家庭の近くの場所で保育する事業等（ファミリー・サポート・センター等）」が 20.4%となっています。



### (5) 宿泊を伴う一時預かりの状況と泊数

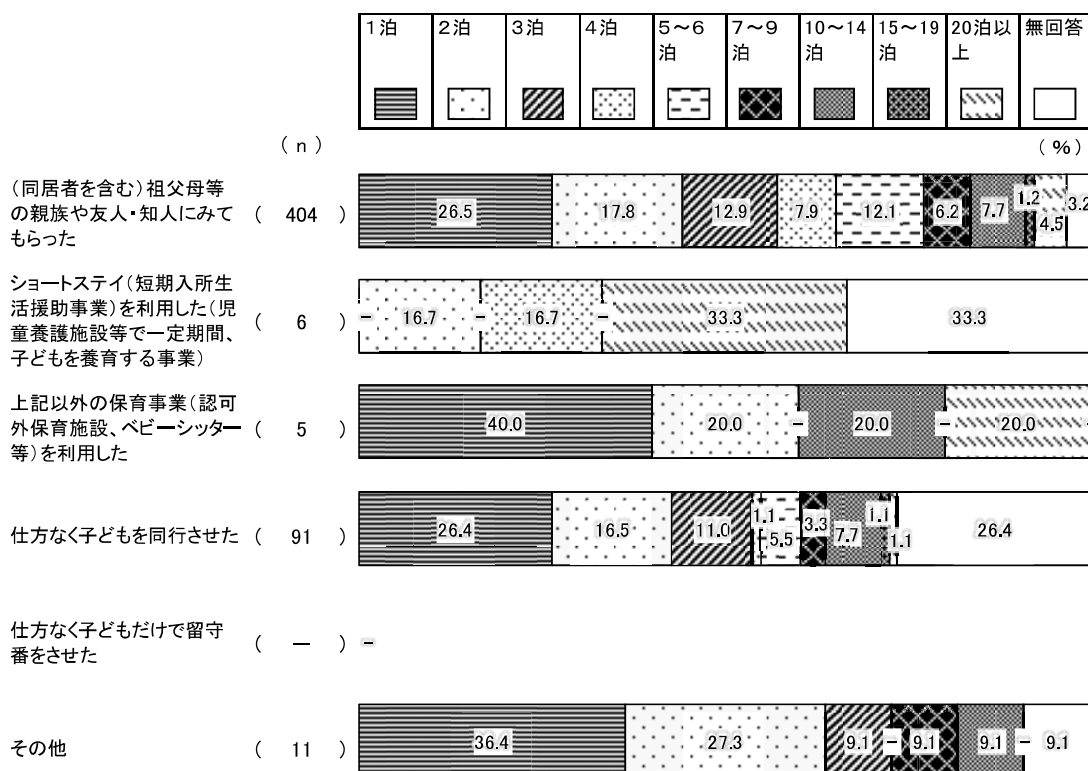
問27 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）あった場合は、この1年間の対処方法を選択し、それぞれの泊数もご記入ください。（あてはまるものすべてに○）

「なかった」が79.0%、「あった」が15.2%となっています。



#### 【対処方法別年間日数】

ショートステイ（短期入所生活援助事業）を利用したは「20泊以上」、（同居者を含む）祖父母等の親族や友人・知人にみてもらった、上記以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した、仕方なく子どもを同行させたは「1泊」が最も多くなっています。

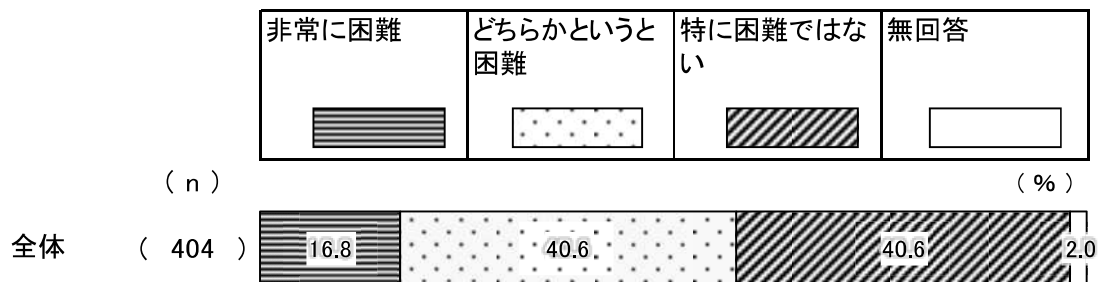


(6) 親族や友人・知人に預ける困難さ

◆問 27-1 は、問 27 で「1 あった」に○をつけ、かつ「A (同居者を含む) 祖父母等の親族や友人・知人にみてもらった」とお答えの方にかがいます

問27-1 その場合の困難度(頼む・預けることの大変さ等)はどの程度でしたか。(1つに○)

「どちらかという困難」「特に困難ではない」が最も多く 40.6%、次いで「非常に困難」が 16.8% となっています。

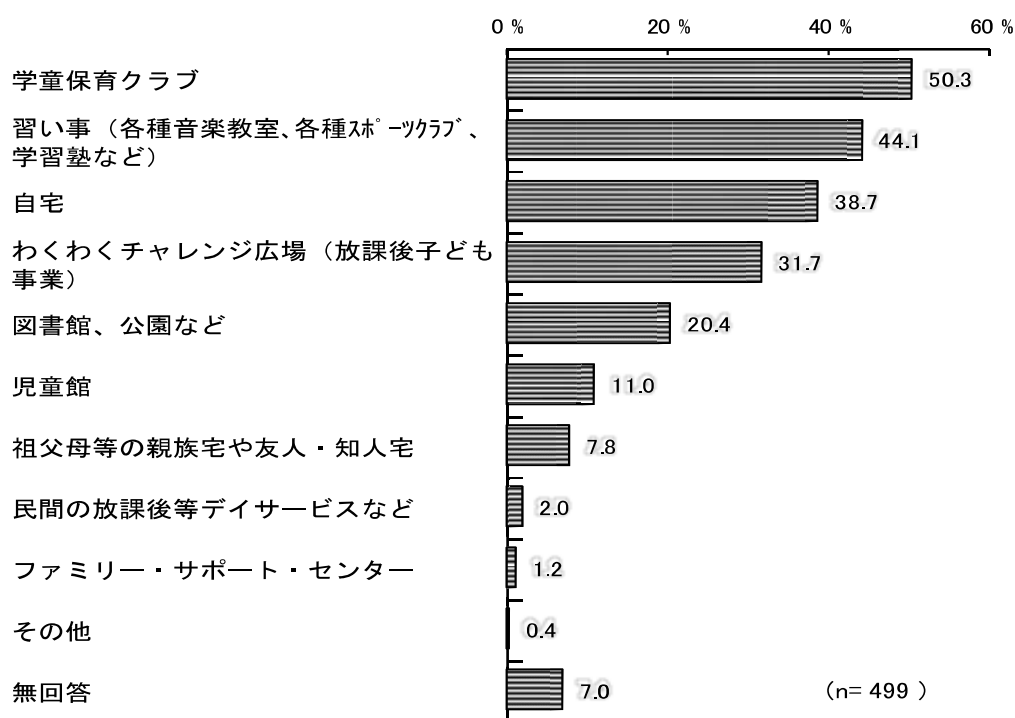


## 11. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

### (1) 小学校低学年のうちの放課後の過ごし方の希望

問28 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。それぞれ利用を希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育クラブ」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。（あてはまるものすべてに○）

「学童保育クラブ」が最も多く50.3%、次いで「習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）」が44.1%、「自宅」が38.7%となっています。



#### 【経年比較】

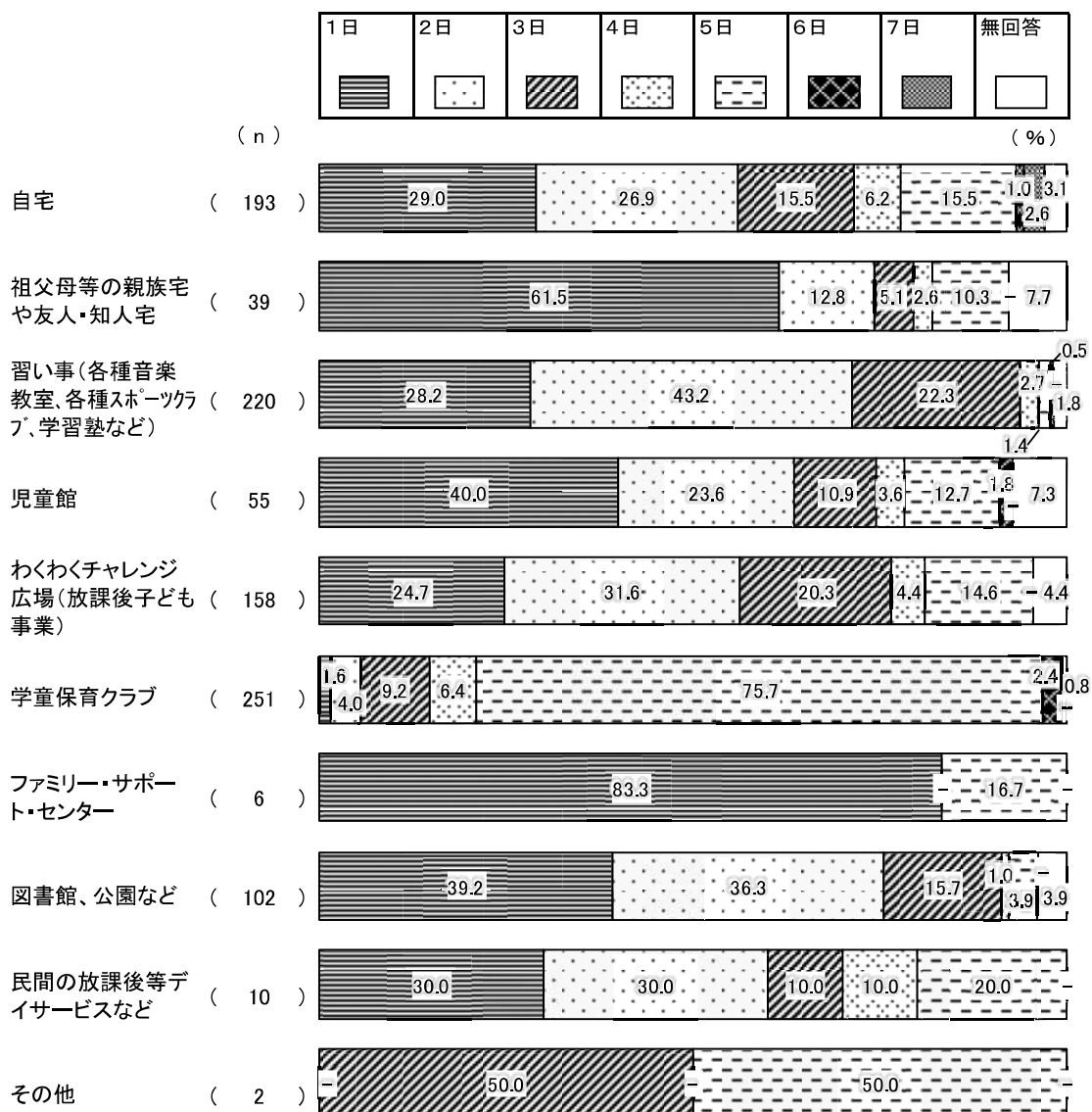
前回調査と比べて、「学童保育クラブ」が多くなっています。

	回答者数	自宅	祖父母等の親族宅や友人・知人宅	習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）	児童館	わくわくチャレンジ広場（放課後子ども事業）	学童保育クラブ	ファミリー・サポート・センター	図書館、公園など	民間の放課後等デイサービスなど	その他	無回答
今回	499	38.7	7.8	44.1	11.0	31.7	50.3	1.2	20.4	2.0	0.4	7.0
前回(H25)	614	42.7	11.1	46.4	12.7	30.8	43.6	0.5	—	—	19.5	—

【過ごさせたい場所別週あたり日数】

自宅、祖父母等の親族宅や友人・知人宅、児童館、ファミリー・サポート・センター、図書館、公園など、民間の放課後等デイサービスなどは「1日」、習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）、わくわくチャレンジ広場（放課後子ども事業）は「2日」、学童保育クラブは「5日」が最も多くなっています。

民間の放課後等デイサービスなどは、「2日」も多くなっています。

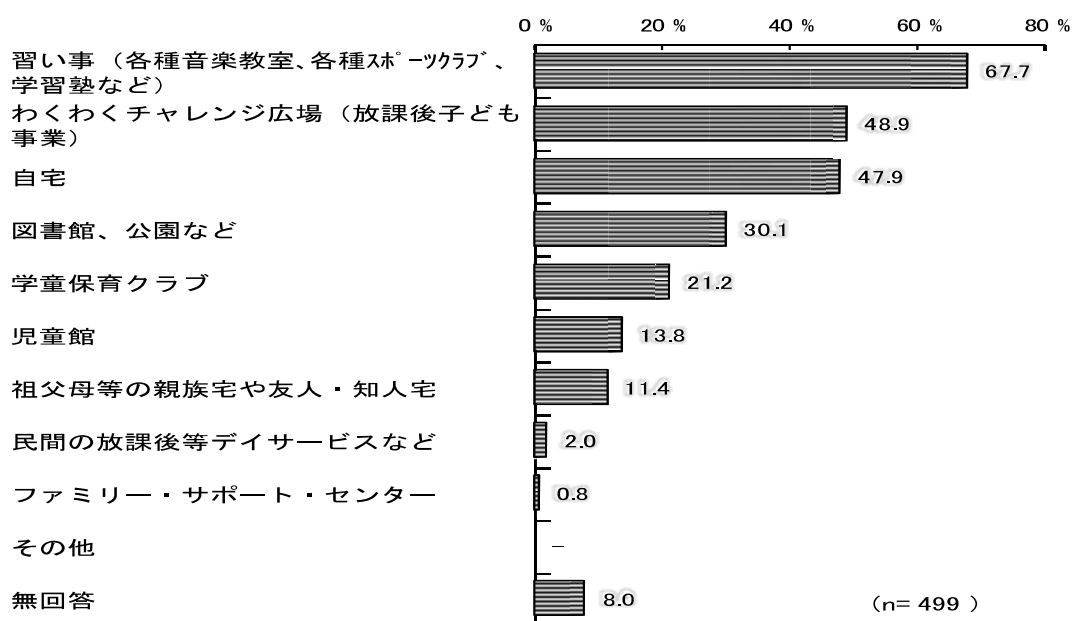


## (2) 小学校高学年になってからの放課後の過ごし方の希望

問29 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。それぞれ利用を希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育クラブ」の場合には、利用を希望する時間をご記入ください。（あてはまるものすべてに○）

※かなり先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

「習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）」が最も多く 67.7%、次いで「わくわくチャレンジ広場（放課後子ども事業）」が 48.9%、「自宅」が 47.9%となっています。



### 【経年比較】

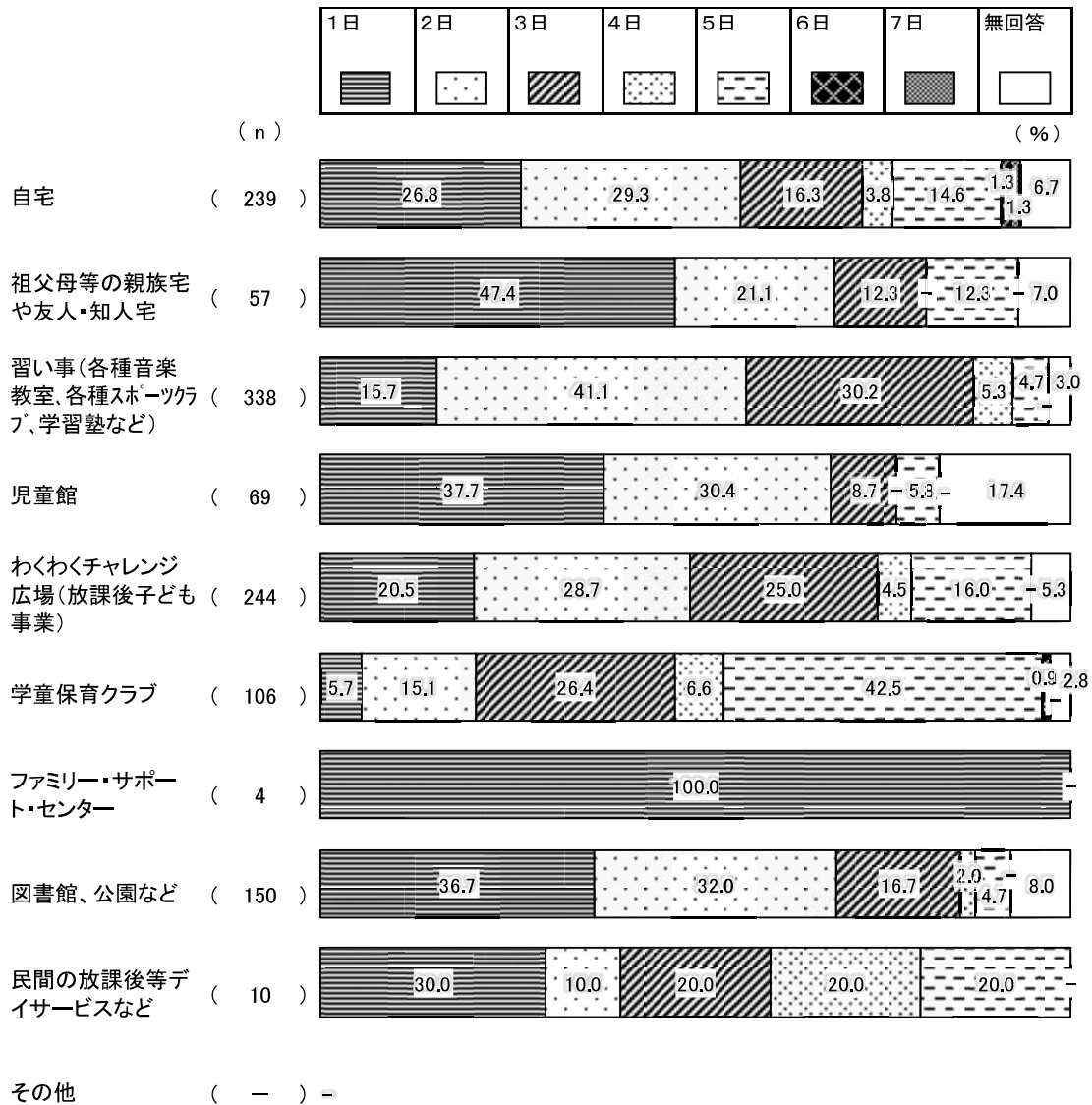
前回調査と比べて、「わくわくチャレンジ広場」が少なくなった一方、「学童保育クラブ」が多くなっています。

	回答者数	自宅	祖父母等の親族宅や友人・知人宅	習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）	児童館	わくわくチャレンジ広場（放課後子ども事業）	学童保育クラブ	ファミリー・サポート・センター	図書館、公園など	民間の放課後等デイサービスなど	その他	無回答
全体	499	47.9	11.4	67.7	13.8	48.9	21.2	0.8	30.1	2.0	-	8.0
前回(H25)	614	47.9	13.7	66.0	13.4	56.0	17.1	0.8	-	-	27.0	-



【過ごさせたい場所別週あたり日数】

自宅、習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）、わくわくチャレンジ広場（放課後子ども事業）は「2日」、祖父母等の親族宅や友人・知人宅、児童館、ファミリー・サポート・センター、図書館、公園など、民間の放課後等デイサービスなどは「1日」、学童保育クラブは「5日」が最も多くなっています。



### (3) 学童保育を利用したい理由

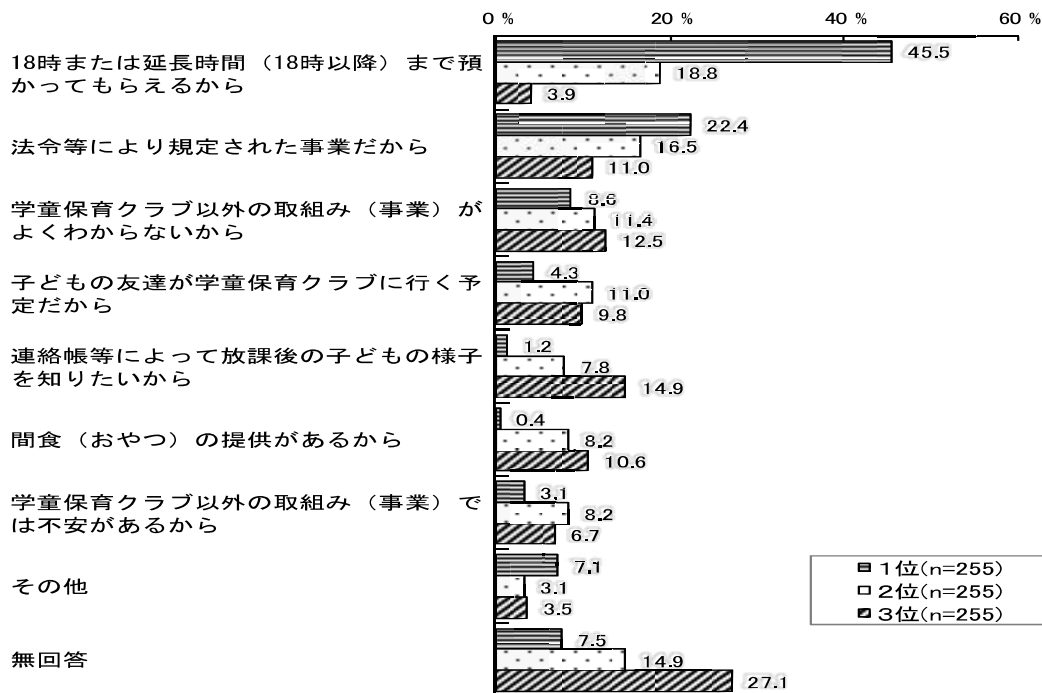
◆問 30、31 は、問 28 または問 29 で「6 学童保育クラブ」とお答えの方にうかがいます

問30 あて名のお子さんについて、学童保育クラブを利用したい理由について、優先順位の高い順に上位3つまで選び、番号をご記入ください。

優先順位1位は、「18 時または延長時間（18 時以降）まで預かってもらえるから」が最も多く 45.5%、次いで「法令等により規定された事業だから」が 22.4%、「学童保育クラブ以外の取組み（事業）がよくわからないから」が 8.6%となっています。

優先順位2位は、「18 時または延長時間（18 時以降）まで預かってもらえるから」が最も多く 18.8%、次いで「法令等により規定された事業だから」が 16.5%、「学童保育クラブ以外の取組み（事業）がよくわからないから」が 11.4%となっています。

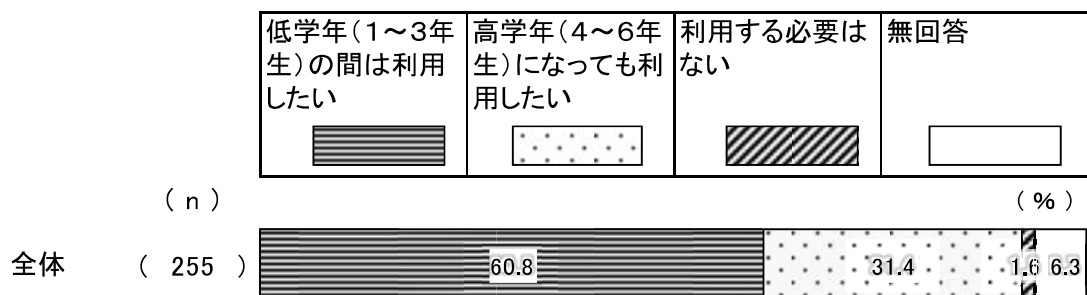
優先順位3位は、「連絡帳等によって放課後の子どもの様子を知りたいから」が最も多く 14.9%、次いで「学童保育クラブ以外の取組み（事業）がよくわからないから」が 12.5%、「法令等により規定された事業だから」が 11.0%となっています。



#### (4) 長期休暇中の学童保育の利用希望

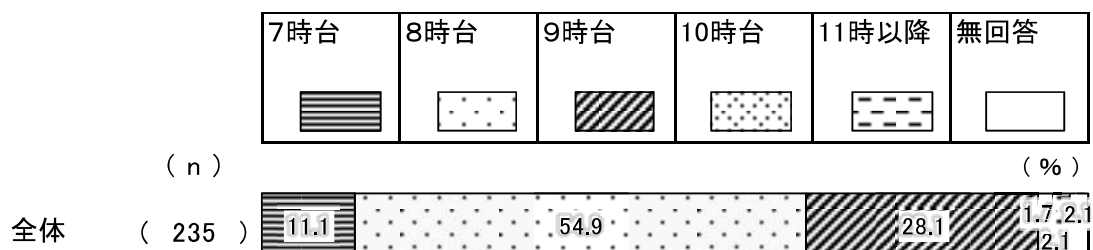
問31 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。(1つに○)

「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が最も多く60.8%、次いで「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が31.4%、「利用する必要はない」が1.6%となっています。



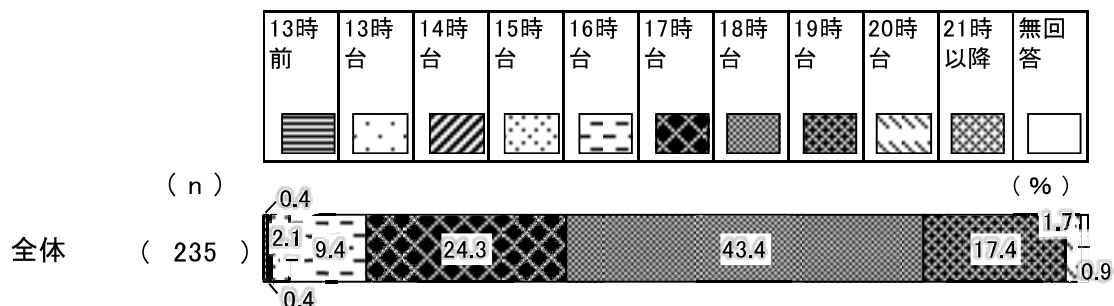
#### 【開始時刻】

「8時台」が最も多く54.9%、次いで「9時台」が28.1%、「7時台」が11.1%となっています。



#### 【終了時刻】

「18時台」が最も多く43.4%、次いで「17時台」が24.3%、「19時台」が17.4%となっています。



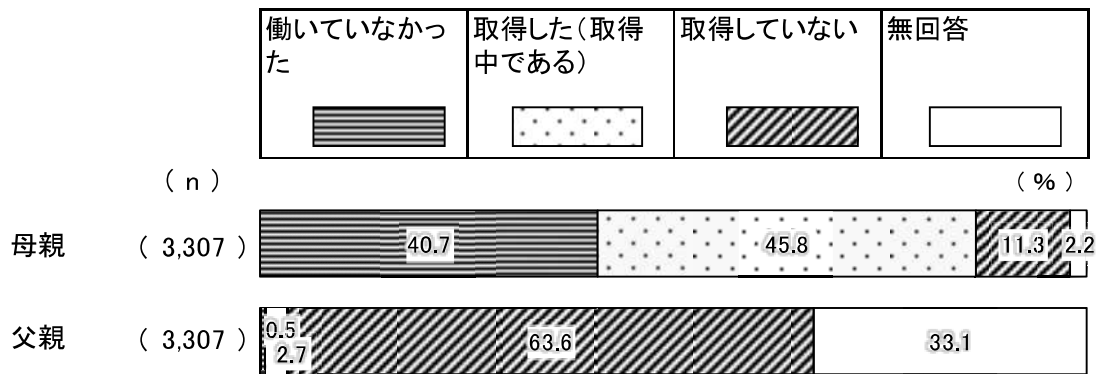
## 12. 職場の両立支援制度について

### (1) 育児休業の取得状況・取得していない理由

問32 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。取得していない方は、育児休業を取得していない理由にあてはまる番号をご記入ください。

母親は、「取得した（取得中である）」が最も多く 45.8%、次いで「働いていなかった」が 40.7%、「取得していない」が 11.3%となっています。

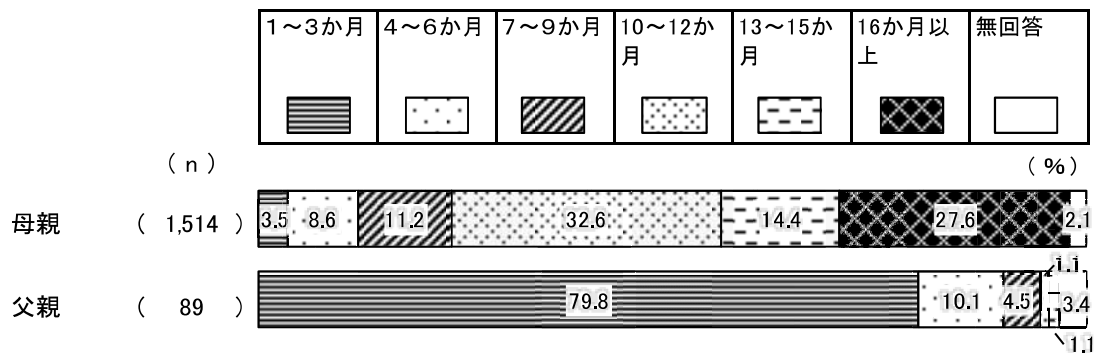
父親は、「取得していない」が最も多く 63.6%、次いで「取得した（取得中である）」が 2.7%、「働いていなかった」が 0.5%となっています。



#### 【取得期間】

母親は、「10～12 か月」が最も多く 32.6%、次いで「16 か月以上」が 27.6%、「13～15 か月」が 14.4%となっています。

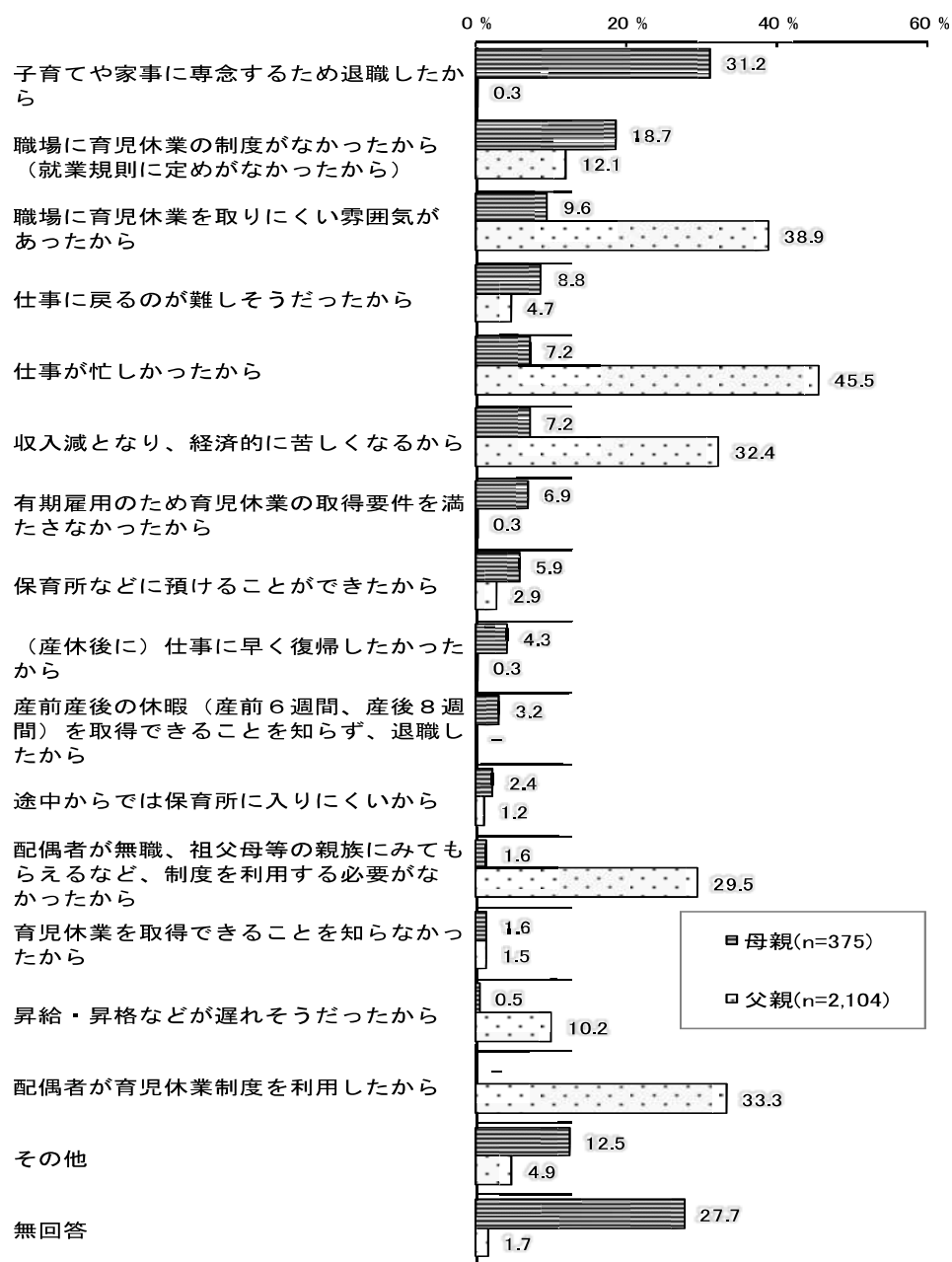
父親は、「1～3 か月」が最も多く 79.8%、次いで「4～6 か月」が 10.1%、「7～9 か月」が 4.5%となっています。



### 【取得していない理由】

母親では、「子育てや家事に専念するため退職したから」が最も多く31.2%、次いで「職場に育児休業の制度がなかったから（就業規則に定めがなかったから）」が18.7%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったから」が9.6%となっています。

父親は、「仕事が忙しかったから」が最も多く45.5%、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったから」が38.9%、「配偶者が育児休業制度を利用したから」が33.3%となっています。



【母親：経年比較】

前回調査と比べて、「取得した（取得中である）」が多くなっています。

	合計	働いていなかった	取得した (取得中である)	取得していない	無回答
今回	3,307	40.7	45.8	11.3	2.2
前回(H25)	3,618	49.8	32.4	16.0	1.7

【父親：経年比較】

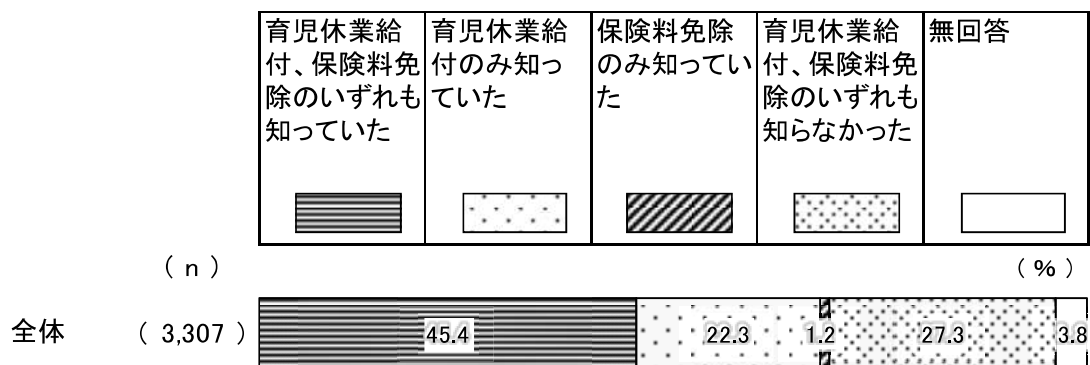
前回調査と比べて、「取得していない」が少なくなっています。

	合計	働いていなかった	取得した (取得中である)	取得していない	無回答
今回	3,307	0.5	2.7	63.6	33.1
前回(H25)	3,618	0.7	2.0	88.3	9.0

(2) 育児休業給付・保育料免除の認知状況

問32-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業および企業が法定を上回る期間を設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険および厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。（1つに○）

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が最も多く45.4%、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が27.3%、「育児休業給付のみ知っていた」が22.3%となっています。



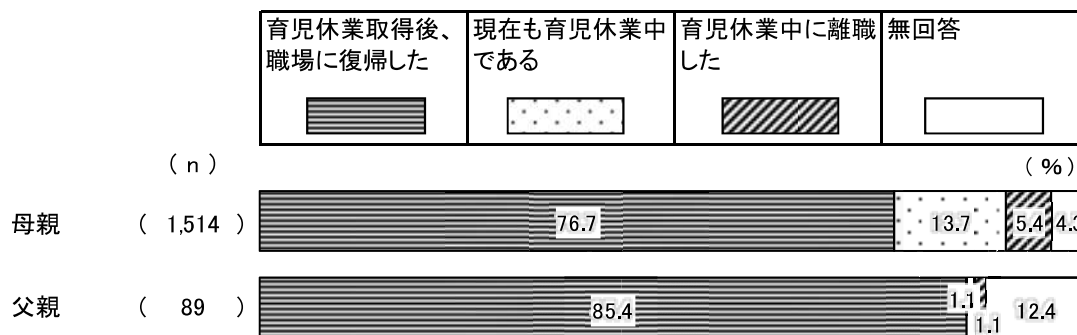
### (3) 育児休業取得後の職場復帰

◆問 32-2 は、問 32 で「2 育児休業を取得した（取得中である）」とお答えの方にうかがいます

問32-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

母親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が最も多く 76.7%、次いで「現在も育児休業中である」が 13.7%、「育児休業中に離職した」が 5.4%となっています。

父親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が最も多く 85.4%、次いで「現在も育児休業中である」と「育児休業中に離職した」が 1.1%となっています。



### (4) 職場復帰の時期

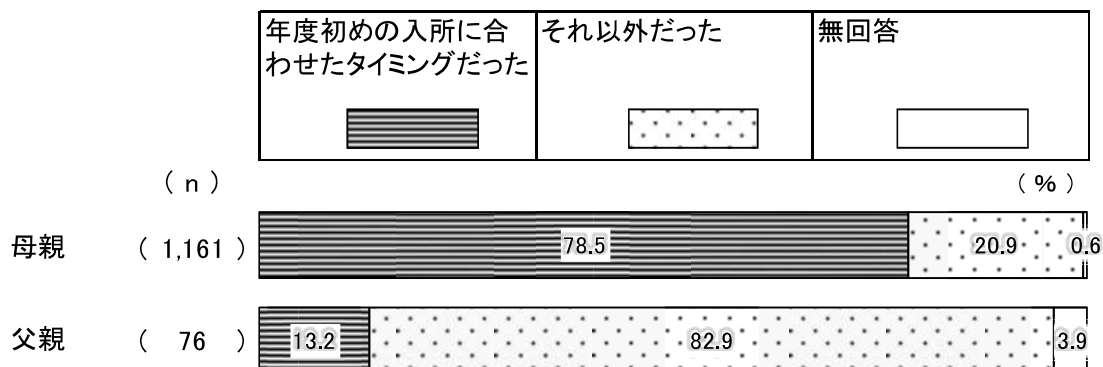
◆以下の質問は、問 32-2 で「1 育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えの方にうかがいます

問32-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

※年度初めでの認可保育所の入所を希望して、1月～2月頃復帰し一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際は希望する保育所に入所できなかったという場合も「1 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」に○をしてください。

母親は、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 78.5%、「それ以外だった」が 20.9%となっています。

父親は、「それ以外だった」が 82.9%、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 13.2%となっています。



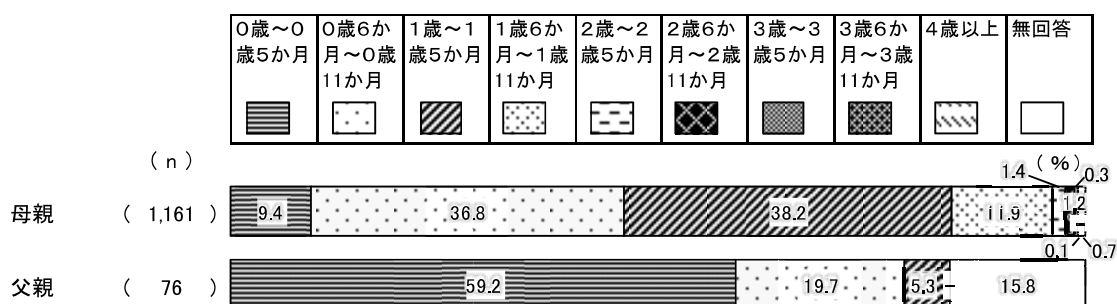
### (5) 職場復帰時の子どもの年齢と希望時期

問32-4 育児休業からは、「実際」にお子さん何歳何か月のときに職場復帰しましたか。  
 また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。  
 それぞれご記入ください。

#### 【実際の職場復帰】

母親は、「1歳～1歳5か月」が最も多く38.2%、次いで「0歳6か月～0歳11か月」が36.8%、「1歳6か月～1歳11か月」が11.9%となっています。

父親は、「0歳～0歳5か月」が最も多く59.2%、次いで「0歳6か月～0歳11か月」が19.7%、「1歳～1歳5か月」が5.3%となっています。



#### 【希望の職場復帰】

母親は、「1歳～1歳5か月」が最も多く41.3%、次いで「1歳6か月～1歳11か月」が18.6%、「2歳～2歳5か月」が13.9%となっています。

父親は、「0歳～0歳5か月」が最も多く30.3%、次いで「1歳～1歳5か月」が27.6%、「0歳6か月～0歳11か月」が17.1%となっています。



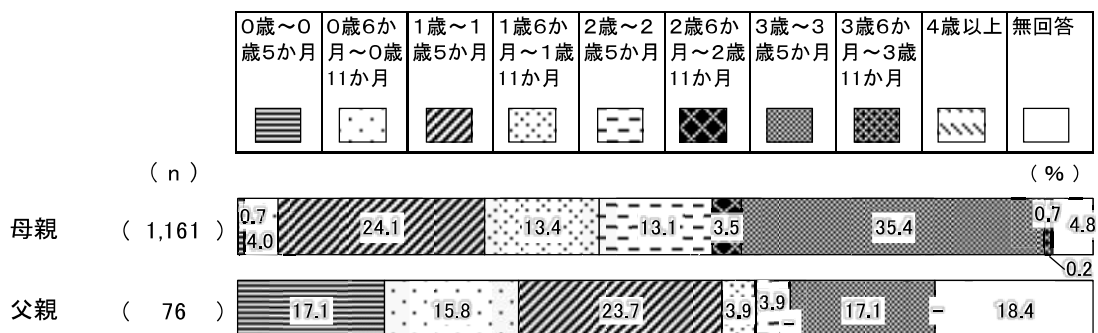


### (6) 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の職場復帰の希望時期

問32-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。それぞれご記入ください。

母親は、「3歳～3歳5か月」が最も多く35.4%、次いで「1歳～1歳5か月」が24.1%、「1歳6か月～1歳11か月」が13.4%となっています。

父親は、「1歳～1歳5か月」が最も多く23.7%、次いで「0歳～0歳5か月」と「3歳～3歳5か月」が17.1%となっています。



### (7) 希望の時期に職場復帰できなかった理由

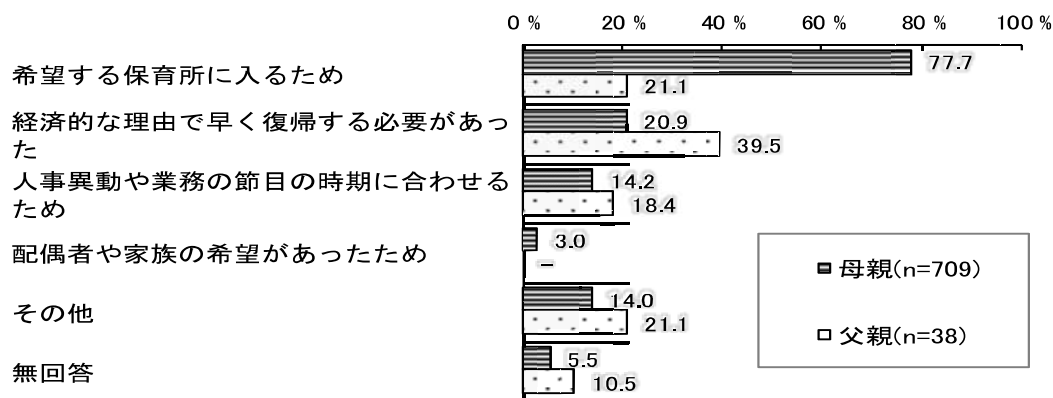
◆問32-6は、問32-4で「実際の復帰と希望が異なる」とお答えの方にうかがいます

問32-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

#### 【「希望」より早く復帰した方】

母親は、「希望する保育所に入るため」が最も多く77.7%、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が20.9%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が14.2%となっています。

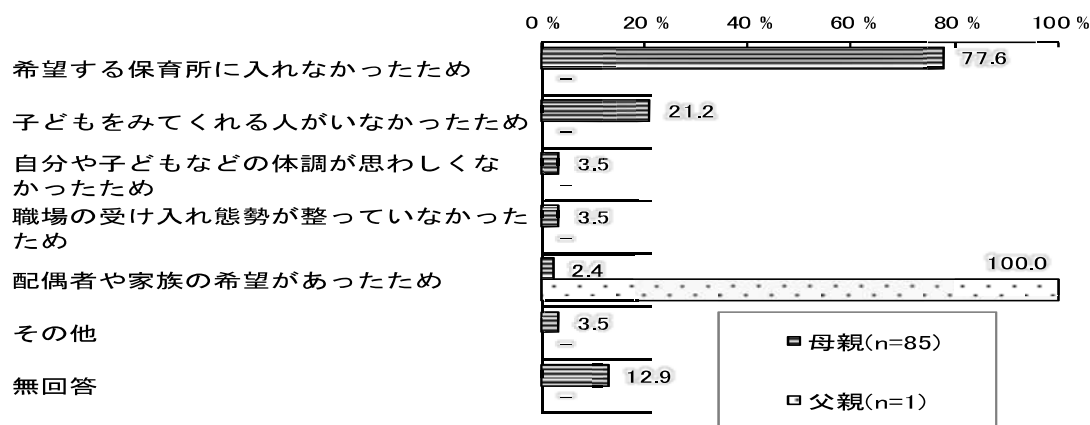
父親では、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が最も多く39.5%、次いで「希望する保育所に入るため」が21.1%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が18.4%となっています。



【「希望」より遅く復帰した方】

母親は、「希望する保育所に入れなかったため」が最も多く77.6%、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」が21.2%、「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」と「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」が3.5%となっています。

父親は、「配偶者や家族の希望があったため」が1件となっています。



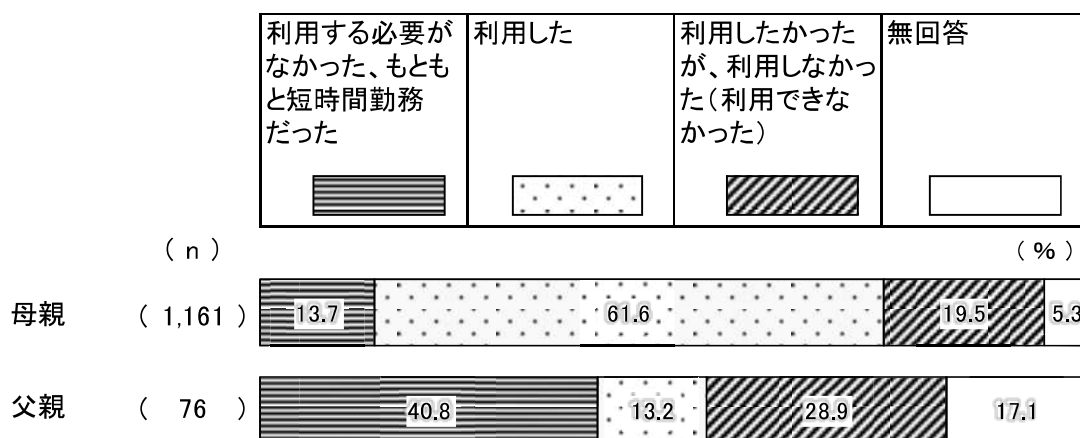
(8) 短時間勤務制度の利用の有無

◆問 32-7 は、問 32-2 で「1 育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えの方にかかっています

問32-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

母親は、「利用した」が最も多く61.6%、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が19.5%、「利用する必要がなかった、もともと短時間勤務だった」が13.7%となっています。

父親は、「利用する必要がなかった、もともと短時間勤務だった」が最も多く40.8%、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が28.9%、「利用した」が13.2%となっています。



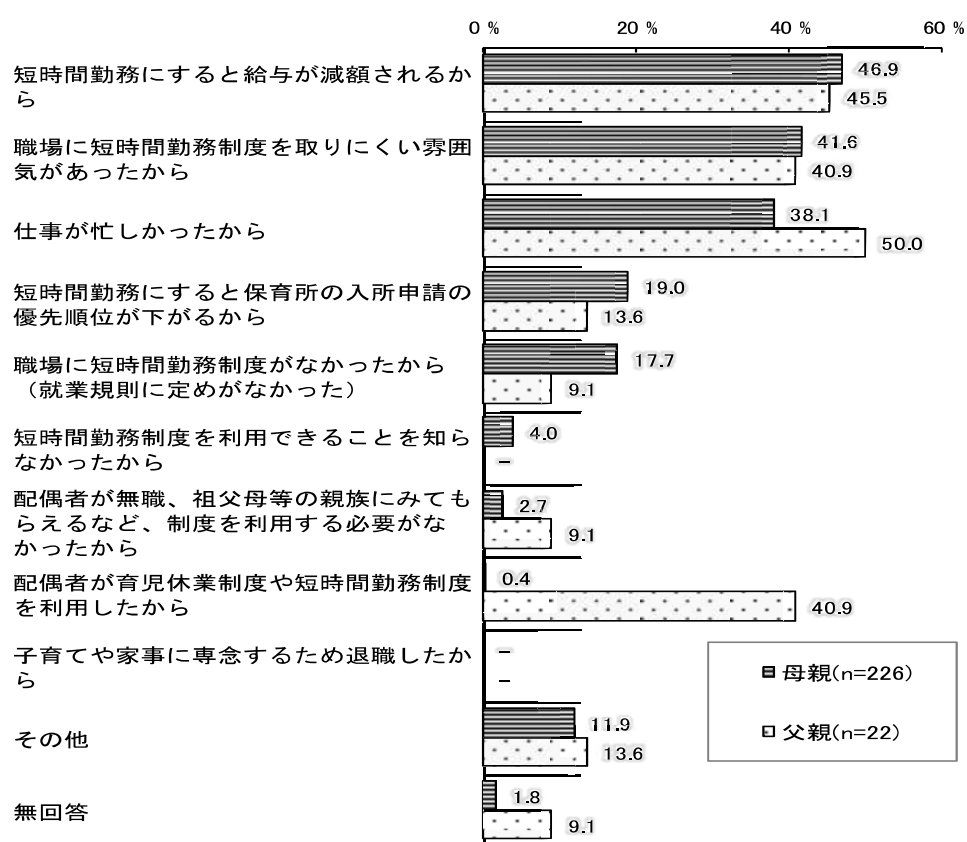
### (9) 短時間勤務制度を利用しなかった理由

◆問 32-8 は、問 32-7 で「3 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」とお答えの方  
にうかがいます

問32-8 利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。

母親は、「短時間勤務にすると給与が減額されるから」が最も多く 46.9%、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったから」が 41.6%、「仕事が忙しかったから」が 38.1%となっています。

父親は、「仕事が忙しかったから」が最も多く 50.0%、次いで「短時間勤務にすると給与が減額されるから」が 45.5%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったから」と「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用したから」が 40.9%となっています。



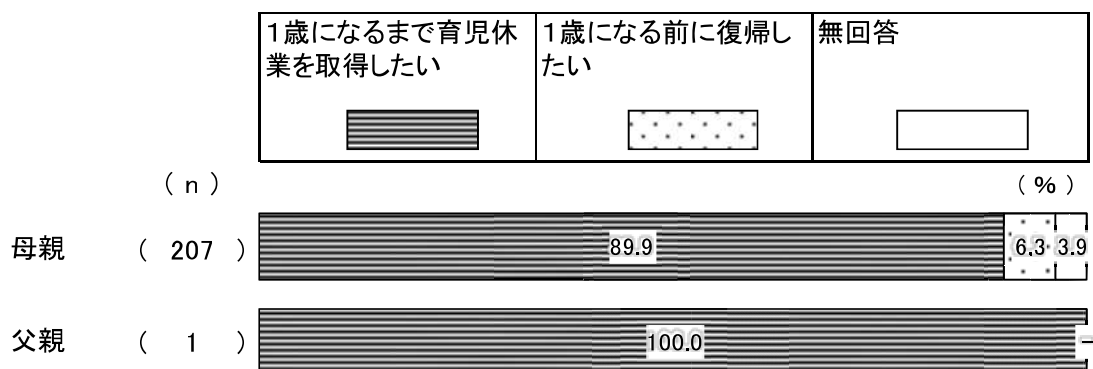
(10) 必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得したか

◆問 32-9 は、問 32-2 で「2 現在も育児休業中である」とお答えの方にかがいます

問32-9 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、1歳になったときに必ず預けられる事業等があっても1歳になる前に復帰しますか。

母親は、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が89.9%、「1歳になる前に復帰したい」が6.3%となっています。

父親は、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が1件となっています。

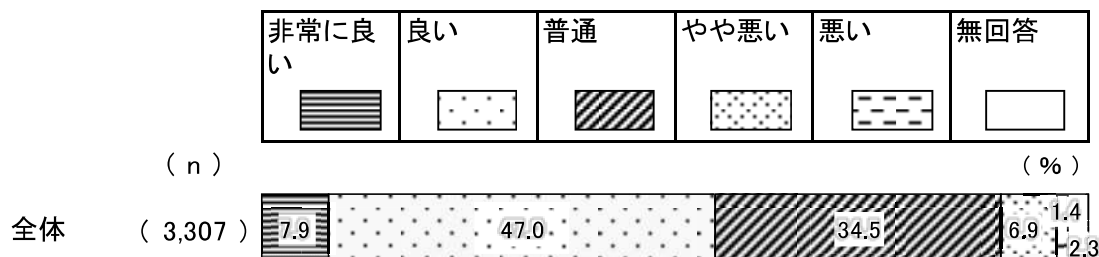


### 13. 子育て支援施策に関する満足度について

#### (1) 葛飾区の子育て環境に対する総合的な満足度

問33 安心して子育てができる環境について、葛飾区を総合的にどのように評価しますか。(1つに○)

「良い」が最も多く47.0%、次いで「普通」が34.5%、「非常に良い」が7.9%、「やや悪い」が6.9%、「悪い」が1.4%となっています。



#### 【経年比較】

前回調査と比べて、「非常に良い」「良い」が多くなっています。

	回答者数	非常に良い	良い	普通	やや悪い	悪い	無回答
今回	3,307	7.9	47.0	34.5	6.9	1.4	2.3
前回(H25)	3,618	2.9	35.6	44.1	12.2	3.3	2.0

#### (2) 葛飾区の子育てに関する意見

問34 最後に、問33の評価理由や、葛飾区の子育てに関して日頃お感じになっていることや悩みごと、ご意見やご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

2,046名の意見が寄せられました。主なものを掲載します。

#### 【学童保育クラブ事業について】

- 待機児童の話あまり聞かない点はすばらしいと思います。学童が小学校内や学校近くにあることはとても助かります。物騒な世の中なので学年の区切りなく小学校のうちは利用したいです。
- 学区内にある学童に入れるのかとても不安です。小学生になると職場の時短勤務もなくなり早く帰る事が出来なくなります。せめて1年生の間だけでも100%学童に入れるようにしてほしい。安心して仕事ができるようにしてほしい。
- 第1子が小2になり、わくチャレを利用することで母親に時間が出来、週に数回短時間の仕事に就けるようになりました。が、学童に行けるほどの勤務時間ではありません。夏休みは、わくチャレはお休みなので、子どもの行き場所がありません。有料でもかまいませんので、わくチャレに夏休みに預けられたら、とてもありがたいです。また、わくチャレが現在小2から利用できるのですが、小1から利用できるようになると、数年後第2子が就学した際に、とても助かります。今のままで、就学時に仕事を制限せざるを得なくなるので。ご検討よろしくお願い致します。

- 学童クラブが、全小学校に設置されている区もある中、不十分だと思う。
- 小学校内の学童クラブの定員が少ないので、1年生で入れるかもわからず、2年、3年生では入れることが少ないので、学校から遠い学童に行かなければいけない事。学童クラブは小学校内、もしくは目の前にないと、学校から学童に行くまでが結局危ないので何とかしてほしい。
- 保育士や学童の指導員等の育成や待遇を向上させることを要望します。
- 学童保育の開所時間を早めてほしい。家を出る時間にあいていないと、開所までの時間をどうしたらいいか悩んでしまいます。周りのお母さんたちにきくと、出勤時間の遅い友達にあずかってもらうなどの工夫をしているそうだが、そういう方がまわりにいない場合などはどうすればいいのか…区からの提案などはあるのか?とても気にかかっています。
- 長女が来年より小学生ですが学校によってワクチャレが1年生からある学校、3年生からある学校があるのがどうしてなのかと思います。同じ公立なのになぜ差があるのでしょうか。
- 保育園までは、本当に充実していると思う。この6年間、安心して仕事ことができました。一方で、小学校入学後、不安があるのは、朝の時間。保育園のように朝7:00~預かってくれる事が無いため、父母が出勤後1人の時間ができてしまう。戸閉りや防犯の観点で、どうしても不安が残る。学童や学校側の取組みで早朝受け入れをしてくれると非常にありがたい。
- 小学校入学に関して、学童と小学校の管轄の課が違って、小学校が決まる前(指定校変更をして抽選対象になった場合)に学童の1次申し込み期限がきてしまうのには困りました。その時に、該当課にご相談しましたが、それぞれご家庭の事情もあるかと思いますが…ばかり。今後の検討材料にしていきたい。

#### 【地域子育て支援拠点事業について】

- 児童館をよく利用していますが、冷暖房完備であることや、沢山の遊具・イベントがあり、無料で利用できるのにありがたいな、といつも感じております。先生達も優しく、様々な相談に乗ってもらったり、お友達がいな時は先生達が話相手になってくれたり、子供と遊んでくれたり、本当にありがたく先生達には感謝の気持ちでいっぱいです。これからも利用します。
- 子育てひろばは、子供が未就園児の頃お世話になりました。近くに親族もなく、相談相手やこどもの遊び相手もいなかったのととても助かりました。
- 子育てひろばに救われました。担当の保健師さんもとても良い方です。
- 0歳2・3ヶ月児の会で地域のママ達と会う機会がありましたが人数が多すぎてその後連絡するような間柄になるきっかけが作りづらかったです。子育てひろばや児童館も「グループに入りづらい等で行きづらい」と話していた事もあります。もう少し小さい規模でお話できる機会があると良いな、と感じました。